



duomo…イタリア語で町一番の教会という意味です。弊社がお客様や地域の人たちから親しまれ必要とされ町一番の会社になれるようにとの願いを込めてこの名前に決めました。

今年も押し迫ってまいりました。12月に入るとなんだか秒読み態勢に入った気がします。一日一日があっという間に過ぎていきます。コロナで始まりコロナで終わった一年でした。大変な思いをされた方もたくさんいらっしゃると思います。感染爆発なんてことが年末年始にかけて起こったりすることのないように祈るばかりです。今年一年ドームをご覧頂き本当にありがとうございました。来年も宜しく願い申し上げます。よいお年を(^)/

ドーム8月号でお伝えしたエコジューハウスの新築現場が完成致しました。



床面積105.57㎡
U a 値0.371
C 値 0.1

※HEAT20:一般社団法人 20年先を見据えた日本の高断熱住宅研究会
※U a 値:外皮平均熱還流率(W/㎡・K)
※C 値:相当隙間面積(cm/㎡)

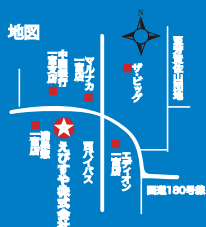
断熱性能の基準としてよく使われるのが国の基準である平成4年基準、平成25年基準と、HEAT20の推唱する「G1」、「G2」グレードがあります。また、住宅の断熱性能を表すのに外皮平均熱還流率(U a 値)があります。住宅の壁とか屋根、窓などから熱の逃げ易さを表した数字で小さいほど断熱性能がよいです。

建築地である岡山市足守では、U a 値が、平成4年基準・1.54 平成25年基準・0.87 G1・0.56 G2・0.46です。具体的な例をあげますと、室温20度の部屋で就寝し翌朝5時時点での室温は、平成4年基準・9度以下 平成25年基準・11度 G1・13度 G2・15度というデータもあります。

この住宅のU a 値は0.371ですので、G2グレードよりもさらに高断熱の家ということになります。実査に同じような性能の住宅で室温を図ったところ冬でも室温が17度から18度以下にはならないという結果が出ています。

ちなみにG1は平成4年基準に比べて住宅の年間暖房負荷は30%削減、G2は50%削減できる性能基準ですので省エネという意味でもこの住宅は優れているといえます。

また、C 値が0.1ということはこの住宅の隙間が1㎡当たり0.1cmということなので住宅全体で約10cm程度の隙間しかないということであり、換気についても空気が滲むことが少なく、計画通りの換気ができ、健康にもいい住宅ということが言えますね。!(^^)!



ご連絡先



086-284-6170

えびすや建築工房

TEL. 086-284-6170 E-mail. info@ebisuya-net.co.jp
FAX. 086-284-6175

えびすや 株式会社 〒701-1211 岡山市北区一言113-1

こちらから無断でお問い合わせはできません。